

한통련 뉴스레터

제60호

発行:在日韓国民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●福島原発汚染水海洋投棄…日本政府は着々準備、高まる反対の声



汚染水放流に反対する韓国市民

「共に民主党」汚染水問題で政府を厳しく批判

第一野党「共に民主党」は6月23日、江原道江陵市で党最高委員会議を開き、福島第一原発の放射能汚染水海洋放出を巡り、前日に李在明(イ・ジェミョン)代表が同地の水産業や観光業界の関係者と懇談したのに続き、韓国政府の対応を厳しく批判した。

鄭清来(チョン・チョンレ)最高委員は韓日間の歴史に照らしながら、「汚染水放出はわが海への侵攻」と表現したほか、「嘆かわしいのは日本の報道官を自任する尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権」と非難した。

共に民主党は汚染水放出反対の署名活動に続き、7月1日から1カ月間、ソウルを皮切りに全国を巡回し汚染水放出反対の集会を開催、世論の結集を図る計画。

第二野党・正義党は6月22日から24日まで「福島汚染水阻止タスクフォース」代表団を日本に派遣し、26日から日本大

使館前でハンスト闘争に突入した。

韓国漁業団体が反対集会・海上デモ

韓国水産業経営人連合会などの地域漁業団体が23日、全羅南道の莞島で福島原発の放射能汚染水海洋投棄に反対する集会を開いた。集会には漁業関係者約700人(主催者発表)が参加し、養殖場管理船、漁船など約200隻も莞島港沖で海上デモを行った。

連合会は宣言文で「汚染水が海に捨てられれば、われわれ漁民と水産業従事者の生計が脅かされ、子孫の健康と安全も脅かされる」と主張。海洋放出ではなく自国内に汚染水を保管すべきだと強調した。連合会は韓国政府に対し、日本産輸入水産物の流通履歴の管理強化、水産分野被害対策特別法の制定などを要求した。

全羅南道の漁業関係者はこの日の集会を皮切りに、各地で反対活動を行う計画。

共同行動、「第3回全国行動の日」

民主労総、韓国進歩連帯、環境運動連合など市民社会団体と漁業団体で構成する「日本による放射能汚染水の海洋投棄阻止のための共同行動」は、ソウル市庁の東側で「第3回全国行動の日」の集会を開催した。市民や民主労総労組員ら約5000人が参加。

共同行動は「福島原発の放射能汚染水は一度だけ捨てられるのではなく、溶け落ちた核燃料を除去して廃炉するまで、少なく

とも30年以上は続くだろう」とし、「日本は汚染水の海洋投棄の代わりに大型タンクによる陸上での長期保管や、セメントに入れて固体化する代案を設けるべきだ」と主張。また「韓国政府は、日本政府を代弁するかのよう毎日の定例説明会ではなく、汚染水の海洋投棄に反対し、日本政府に対し積極的な汚染水対応を求めよ」と強調した。

共同行動は来月8日に「第4回全国行動の日」を予定。

労働新聞、日本政府を非難

労働新聞6月2日付けは「人類を犠牲にしようとする日本の厚顔無恥な犯罪的妄動」と題した記事を掲載。

「日本政府は2021年4月、福島原発の放射能汚染水100万トン以上をろ過、希釈した後に海洋放出することを決定。これに対して日本の漁業団体や地元関係者らが強く反対し、中国や南朝鮮（韓国）なども強い反対を示したにもかかわらず、日本政府は海洋放出を強行しようとしている」と汚染水放出計画を非難した。

日本政府、放出に向けた準備を整える

●【記事紹介】退陣運動本部を結成…「尹錫悦退陣」全面戦、汎国民大会を宣布



「尹錫悦政権退陣運動本部」結成記者会見

尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣運動が各界各層と地域に広がりを見せるなかで、民主労総、全農、貧民解放実践連帯の労働者・農民・貧民団体が中心となり準備を進めてきた退陣運動の推進機構が6月27日、37の市民社会団体の参加による

東京電力は26日、福島原発の処理水を沖合に送るための海底トンネルを掘り進めた重機を引き揚げるなどして、去年8月から進めてきた放出設備の工事を完了した。28日からは、原子力規制委員会による放出前の検査が行われる予定で、この検査に合格すると放出に向けた設備面での準備が整うことになる。

日本政府は、規制委員会による検査の結果と、国際原子力機関（IAEA）の処理水計画の安全性に関する包括的な報告書の内容を踏まえて、処理水の放出を始めるタイミングを最終的に判断する方針。

汚染水海洋投棄反対！

日本政府と東京電力は内外で高まる反対の声に耳を貸さず、汚染水海洋投棄の準備を着々と進めている。「未来志向」の韓日関係を題目に唱えて対日屈辱外交を展開するばかりの尹政権には、国民の立場に立ち、国益を守る姿勢で、日本政府に「汚染水を海洋投棄するな」と主張する考えは毛頭ないようだ。汎国民的な反対闘争と国際的な連帯闘争により、汚染水海洋投棄を阻止しなければならない。

「尹錫悦政権退陣運動本部準備委員会」として発足した。民プラス（6月28日付け）の記事を紹介する。

37市民社会団体が参加「尹錫悦政権退陣運動本部準備委員会」発足
来月15日、尹錫悦退陣第1次汎国民大会…下半期総決起を決意

ヤン・フェドン烈士の念願を実現するために闘争してきた労働市民社会団体がついに「尹錫悦政権退陣」運動のための組織を出発させ闘争を本格化した。

参加者らは来月15日、「尹錫悦退陣第1次汎国民大会を開き退陣闘争を大衆的に宣布し、下半期総決起の決心を高める予定だ。日本の放射能汚染水海洋投棄阻止闘争

に総力をあげる決意も明らかにした。

27日、民主労総と全国農民会総連盟（全農）、全国女性農民会総連合、貧民解放実践連帯そして女性、青年、宗教団体などが参加し、「尹錫悦政権退陣運動本部準備委員会」発足を宣言した。

労・農・貧団体の代表らは5日に「退陣運動機構の結成」提案書を出した後、各団体の意見を収めしこの日、37団体の名前で出帆を告げた。

参加者らは「尹錫悦政権のこの一年は民衆にとってとてつもなく大きい苦痛の時間であった」とし、「反民衆・反民生・反民主・反平和の尹錫悦政権とは一日たりとも同じ空の下で生きられない」と退陣本部発足の背景を説明した。

退陣闘争はすでに始まった政局だ

来月3日から2週間、全面ストに取り組む民主労総は「尹錫悦退陣」を全面ストの要求として掲げた。昨年冬、「米価保障」を要求した農民団体はすでに「退陣」スローガンを掲げていた。4月に尹錫悦大統領が「糧穀管理法」に拒否権を行使すると、農民らは退陣闘争の火をつけた。露店商と都市貧民らも6・13全国露店商大会を通じて退陣闘争の決意を固めたところだ。

ヤン・ギョンス民主労総委員長は「建設労働者を死へ追いやり、李泰院（イテウォン）惨事に責任を負わない尹錫悦政権はいまや『放射能汚染水を飲んでも大丈夫』だと国民を欺まんしている。海外に出れば国民を心配させる材料を一杯持ち帰る政権」と嘆いた。

ヤン委員長は「政権就任1年余りの期間だが、1年間の悪行と不足すべてをあげられないほどだ」とし、「民主労総の全面ストの最終日にあたる7月15日に汎国民大会を開き、国中が、すべての国民がともにする退陣闘争をつくり出す」と明らかにした。

この日の準備委員会の参加団体に韓国労総の全国金属労働組合連盟（金属労連）も名前をあげた。先月31日、金属労連の事務処長がポスコ光陽（クァンヤン）製鉄所で「ポスコ下請け業者弾圧中止」を要求

し、高所ろう城を繰り広げたところ、警察のこん棒による弾圧を受け血を流しながら逮捕された。金属労連は「労働者に対する尹錫悦政権の宣戦布告」だと規定し闘争中だ。

「尹錫悦退陣は農民の意志」

「大韓民国の都市貧民は2000万人…退陣闘争の先頭に」

ハ・ウォノ全農議長は「尹錫悦退陣は農民の意志」だと語った。

ハ議長は農村に行けば「『なぜ尹錫悦退陣闘争をしないのか』『いつから農民はこんなに意気地がなくなったのか』との声を聞いている」としながら、農民の怒りには終わりが無いほどだと伝えた。

退陣運動本部（準）構成前から地域で農民を中心に退陣運動が繰り広げられている。糧穀管理法に対する拒否権行使のずっと前からだ。昨年冬「ご飯碗一杯分のコメに300ウォン保障」「物価上昇率にまったく追いつかない農業予算」、そして「日本の放射能汚染水放流反対」を叫んだのも農民だ。

ハ議長は「全農が地域農民の意志を受け継ぎ退陣闘争に乗り出す。民衆を集めていく」との決心を示した。

イ・ギョンミン貧民解放実践連帯共同代表は「チョンセ（※不動産の所有者に一定の金額を預けるかわりに家賃が不要となる韓国特有の賃貸制度）詐欺などで多くの国民が貧民に転落し、自営業者は生計手段を失い、街頭へと追い出された」とし、「大韓民国の都市貧民は2000万人」だと強調した。

イ代表は尹錫悦政権により拘束された貧民団体の前現職幹部6人に言及した。

「9年前、シン・ヨニ江南（カンナム）区長（セヌリ党）が30億ウォンをかけて暴力団を動員し露店を強制撤去しようとし、これに抵抗したとの理由で拘束までした」とし、「『貧しい者は餅の粉を食べて生きろ』『抵抗すれば監獄に送るぞ』というのが尹錫悦政権のやり方」だと批判した。そして「都市貧民も尹錫悦退陣闘争の先頭に立つ。運動本部を中心に力強く闘争する」との決意を明らかにした。

ソウルの露店商の会員らはすでに自らの露店に「福島放射能汚染水投棄反対」の宣伝幕を掲示し、放流反対の署名を集めるなど、尹錫悦政権の失政を知らせる活動を始めた。

放射能汚染水海洋投棄阻止に総力闘争…来月15日に第1次汎国民大会

運動本部はこの日、代表者会議を開き、△日本の放射能汚染水海洋投棄阻止闘争△労働弾圧阻止、労組法2・3条への拒否権阻止、民主労総全面ストへの連帯支持△公安弾圧、集会示威禁止など民主主義破壊策動阻止△屈辱外交中止、反戦平和闘争△親財閥、社会公共性破壊阻止△民衆生存権を勝ち取るなど、6項目の当面する実践課題を定めた。

まずは放射能汚染水海洋投棄に反対する多様な団体と連帯闘争を続け退陣闘争へと

発展させる計画だ。

こうして参加団体を引き続き拡大する一方、諸団体、進歩政党との懇談会も推進する。7・15第1次汎国民大会を前にして、7月3日から14日まで龍山（ヨンサン）大統領室前で各界リレー退陣宣布記者会見を開く。地域からも7・15退陣闘争参加宣言および立場表明が一斉に続くと思われる。

こうした決意を来月15日ソウルで開かれる「尹錫悦政権退陣汎国民大会」へと集め、労働者、農民、貧民をはじめ約3万人の参加で下半期総決起を宣布する予定だ。

原文

<http://www.minplusnews.com/news/articleView.html?idxno=13839>

활동보고 活動報告

●日韓平和連帯が停戦70年記念集会を開催…韓国からコリア国際平和フォーラムの柳旻完共同代表が来日し講演



講演する柳旻完共同代表

韓統連大阪本部と日本の平和運動団体で構成される日韓平和連帯は6月16日、大阪市内のPLP会館で「朝鮮戦争停戦70周年 停戦70年を平和協定の元年に! 6・16大阪集会」を開催した。

集会では、日韓平和連帯事務局の横山貴安基氏が主催者あいさつ。コリア国際平和フォーラムの柳旻完（リュ・ギョンワン）共同代表が「国際・朝鮮半島情勢の変化と平和運動の課題」をテーマに講演した。

柳代表は現在の情勢について「現在、何

百年も続いた米国の軍事覇権、ドル覇権が没落している」としながら、ウクライナ戦争については「米国CIAが関与した2014年のクーデターでウクライナに親米政権が発足、そのことがロシアの脅威となり戦争に至っている」と指摘。「現在、BRICS（ブリックス）の台頭をはじめ新しい世界秩序が生まれている」と述べ、「武器では平和はつukれない。東アジアの平和の実現のためには韓米日軍事同盟に反対し、韓日間の正しい歴史清算が重要だ」と強調した。

韓統連大阪本部の崔誠一（チェ・ソンイル）事務局長が、7月22日にソウルで開かれる「停戦70年 朝鮮半島平和大会」に参加する訪韓団を紹介。平和協定締結を求めるプラカードアピールを参加者とともに実践し、日韓平和連帯の西山直洋事務局次長が閉会あいさつした。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqiQ

韓統連Instagram

https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja



韓統連YouTubeチャンネル



リーフレット「朝鮮戦争停戦70年－停戦協定を平和協定へ」を作成しました

韓統連では、停戦70年を契機に停戦協定から平和協定への転換を目指し、キャンペーンを開催しています。

キャンペーンの一環として、平和協定に関するリーフレットを作成しました。韓統連ホームページから閲覧・ダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

閲覧・ダウンロードリンク

<https://chuo.korea-htr.org/plan/1414/>

행사예정 行事予定

7月

第7回尹錫悦政権糾弾集会(東京)

日時: 7月8日(土) 午後5時30分 場所: 新宿駅西口地下イベント広場 主催: 東京民主実践連帯 連絡先: 090-4298-6113 (李)

韓統連兵庫セミナー

日時: 7月9日(日) 午後2時開始 場所: 神戸市中央区文化センター会議室 内容: 情勢講演(講師: 韓統連大阪本部 金昌五(キム・チャンオ) 副代表委員) 参加費: 1000円 主催: 韓統連兵庫本部 連絡先: 090-5016-6352 (チェ)

韓統連セミナー(大阪)

日時: 7月9日(日) 午後1時30分受付、午後2時開会 場所: KCC会館 内容: シリーズ「尹錫悦政権とどう向き合うか」第3回 『尹政権と韓国民衆』～経済、労働、教育、ジェンダーなどの視点から～(講師: 金昌範(キム・チャンボム) 韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 800円(青年学生500円) 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

編集後記

韓統連ニューズレターは、このたび60号を迎えることができました。ニュース配信の際、時折読者の方から感想やお礼のメールをいただき、大変励みになっています、カムサハムニダ。これからもよろしくお願いたします。(李)